学校と家庭を結ぶ
CJSSたより
第17号
令和 2年 3月21日
カンタベリー補習授業校
TEL 03-348－9512
www.cjssnz.org admin@cjssnz.org

祝卒業！異例の式

３月 21 日に卒業式が行われました。一週間前には通し練習を行い万全の体制で当日を迎えるはずでした。ところが急転直下 17 日にアイラムスクールより集会禁止という通達が来ました。対応を協議した結果、卒業生や保護者には大変申し訳なかったですが、苦渋の決断で、保護者・在校生、もちろん来賓は「なし」で小学部６年１組、２組、中学部と３回に分けて卒業式を行いました。このような簡略化の卒業式の通知を受け取った時の児童生徒の反応は悲劇的なものだったと聞いています。特に中学部卒業生は文字通りこれが最後の登校日です。結果的に、このようにせざるを得ない状況でしたが、これは逆に大変想い出深い感動的な卒業式になりました。中学部卒業生は涙、涙でした。涙で卒業証書を次々に受け取りに来るので、私も堪える事が出来ませんでした。

雨が今にも降り出しそうな中、在校生が折角練習してきた送辞を卒業生に送りたいと、外で披露してくれました。その様子を垣間見た保護者の方々も涙していました。決してこのような状況を想定していた訳ではないですが、全てが感動的に繋がり、あのような状況のなかでは、最高の形になったように思います。

卒業生の輝かしい未来に栄光あれ！

退職された先生方の挨拶

半年という短い期間でしたが、子どもたちから、たくさんの刺激と活力をもらいました。ありがとうございました。ともに学んだ2年生、日本語を勉強することは、たいへんです。3年生になってもがんばれ。応援しています。 石黒　達也
補習校と平日のフルタイムの仕事との両立が難しく、考え悩んだ末、今年度をもって退任することを決めました。3学期からという短い期間ではございましたが非常に学びの多い、充実した教員生活を送ることができましたことに感謝申し上げます。毎週子ども達と会えば会うほど教職への魅力に引き込まれ、様々な面で難しさを感じつつも、どのように改善・向上していけるか日々悩むこともまた楽しいものでした。校長先生をはじめ、多大なお力添えを頂いた補習校の先生方、クラスヘルプの保護者の皆様、温かく見守って下さった4年2組保護者の皆様、ありがとうございました。子どもたちのますますの成長と皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします。 水野絵理香
1 年間という短い間ではございましたが、本当にお世話になりました。皆様のお力添えがあったおかげで、1 年間しっかり児童と向き合い、楽しく授業をすることができました。 どこかで見かけましたら、気軽にお声をかけていただければ、と思います。 本当にありがとうございました。 松本　真紀
「みんなちがって、みんないい」 3 年生以上のみなさんは、一度は聞いたことがあるでしょう。 他の人の存在を認め、思いやりの心を持つ。 言うのは簡単ですが、なかなか難しい。 しかし、これさえできれば、どこにいても大丈夫だと思います。 12 年間、子供たちと過ごした時間は私の宝物です。 本当にありがとうございました。 ジャクソン奈緒子
一年という限られた期間の中で、保護者の皆様や子どもたち、先生方と多くの方々に支えられ、やりきることができました。今になって多くの経験が自分の中で身になり始めています。より多くの人たちに、学んだことや考えたことを伝えていけるよう、引き続き努力していきます。 またいつか、お互いに成長した姿を見せ合えることを楽しみにしております。 ありがとうございました。 村林　優
私から特に改まった挨拶はございません。退職の旨のみ、必要ならばお知らせ頂ければと思います。 石黒　郁子